

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

海津市地域公共交通計画の評価等結果（2年10月～3年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
コミュニティバスの年間利用者数（デマンド交通を含む） 100,055人/年（平成30年度）→100,121人/年（令和7年度）	コミュニティバスの路線の再構築・他の公共交通への乗り継ぎしやすいダイヤの設定	バス事業者の有する乗降データを用いて計測	達成状況（令和3年度）【未達成】 ・全体:74,281人 ・定時定路線:57,842人 ・デマンド交通:16,439人 分析 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や学校の一斉休校の影響で、各路線とも利用者数が大きく減少した ・定時定路線は、海津明誠高校の生徒数減少やお千代保稲荷への観光客の減少による影響が大きいと考えられる ・デマンド交通は、利用者数は減少しているものの、新型コロナウイルスの影響が出る前の令和元年度からの減少率をみると、定時定路線バスの利用者が24%減であるのに対し、デマンド交通の利用者は19%減と相対的に小さい	・海津市全体の定時定路線バスの公共交通網の再構築を行う。その際は、市民ニーズを考慮し、他市町（特に羽島市・輪之内町）との連携を含めた路線の再構築を併せて検討する ・高校生の通学利用の減少に対して、高校進学前からの情報提供、若年層向けの出前講座を実施し、公共交通の認知度向上を図る ・定期以外の利用者の安定的な確保のため、お千代保稲荷等への観光需要の喚起を図る	令和4年10月に路線の再構築を実施予定
養老鉄道の年間利用者数（市内5駅） 463,988人（平成30年度）→394,000人（令和7年度）	養老線交通圏地域公共交通網形成計画のアクションプログラムに基づき養老鉄道㈱と沿線市町と連携して各種施策・事業に取り組む	養老鉄道㈱が有する利用者数のデータを用いて計測	達成状況（令和3年度）【未達成】 ・全体:368,270人 分析 ・新型コロナの影響により、定期外や通学の利用が大きく減少した。	・目標値を現況値から減少すると見込んでいた中、近年は微増で推移していた ・次年度以降利用者の減少を最小限とするため、関係者と連携等を図りながら、アクションプログラムを進めるとともに、利用促進を図っていく	
運転免許証自主返納者数 73人（平成30年度）→80人（令和7年度）	市報・ホームページ等で周知	自主返納支援事業申請者で計測	達成状況（令和3年度）【達成】 ・83人 分析 ・申請者数は増加傾向にあり、着実に制度が浸透していると考えられる	・運転免許証自主返納支援事業を継続して実施 ・次年度以降、引き続き市報・ホームページ等で周知し、更なる制度の浸透を図る	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。